



クリスマス控えた街の華やかさに心躍る季節となりましたね(笑) 12月に入りました。今日からジャンパーの着用と冬の制帽(毛糸帽子)での登園となります。日に日に寒さも厳しくなってきます。しっかりと防寒をして登園されて下さい。

### △▼△バスの遅延が予想されます△▼△

本州では、連日夏日が続くなど異常な天候が続いた11月…北海道も例年だとダウンコートを引っ張り出し、木枯らしに肩をすぼめながら歩く季節のはずが、今年の11月は、秋物のコートで十分過ごすことができました。雪が降るのは山だけ…関東や関西のように街中には雪が無ければ最高なのですが、やはり雪国北海道では無理ですね。

12月に入り、雪が降る度に積雪が増え、根雪、となる時期になりました。これからは夜間に降った雪の量でスクールバスの運行に大きな影響が出る事が予想されます。

スクールバスの遅延には次のような理由があります。

- \*路面凍結・道幅の減少による渋滞
- \*道幅が狭くなるため対向車とすれ違うのに時間がかかる
- \*交差点が狭くなるため右折・左折がスムーズにできない
- \*道幅が狭い上に路上駐車があるため迂回しなければならない
- \*バスは普通乗用車より重量があるためスタックしやすい
- \*スタックしている他の車があるため迂回しなければならない
- \*歩道と車道の境界が無いため、歩行者の安全のため徐行しなければならない etc

遅延を最小限にするため、「知らせてビューア」でバスの位置情報を確認され、バスの到着前にバス停でお待ち頂きますようお願いいたします。

定刻を過ぎてバス停にいない場合は、次の方のご迷惑になりますので通過させて頂きます。ご了承下さい。



また、お車で幼稚園まで送迎される方(預かり保育)は、路上駐車は他の交通の妨げになり幼稚園へのクレームの対象となります。園舎向かいのすすく広場、つぼみハウス横のバス駐車場に駐車して下さい。園長が全てのクレームに対応するよう努めておりますが、場合によっては職員がクレームに対応するケースもございます。人によっては、暴言・恫喝といった心無い言葉を発する方もおり、園長なら耐えられるのですが、その恐怖に涙を流す職員もおります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

コスモクラブ、カンガルー英語教室、そろばん教室を利用されている方もお迎えの際のご配慮をお願いします。放課後のすすく広場、バス駐車場の利用は、預かり保育のお迎えの方を優先させて頂きますので、放課後教室へのお迎えの方は、近隣の有料駐車場を利用頂くか、終了後速やかにお車を移動され、預かり保育のお迎えの方に駐車スペースをお譲り下さい。放課後教室終了後、お子さんを園庭や歩道で遊ばせ、保護者の方は立ち話をしているケースをよく見かけます。「子供の飛び出しが怖い!」というクレームも入ります。ご配慮をお願い申し上げます。



### = 共感する気持ちを大切に =

思いやりという感情は、相手に対する共感的な感情で、思いやりの心を育むためには、幼い頃から親や家族から思いやられながら育つことが大切です。幼児期には、単純に喜ばせてもらう機会や時間の多いことが大切になります。

子供は幼児期の後半に入ると、親が自分に喜びを与えてくれることを強く求めると同時に、親自身も喜びを感じて欲しいと思うようになるそうです。つまり、子供はパパやママと喜びを分かち合いたいです。パパやママと一緒に喜び合うことが、より深い喜びになり、このような経験が豊かになるにつれて相手と悲しみも分かち合う感情も徐々に芽生え、人間的なコミュニケーションが成り立つようになっていきます。

#### 相手と悲しみを分かち合うことができる心が『思いやり』です!

育児をしている親自身が喜びを感じながら我が子にも喜びを与えるためには、まず、子供が喜ぶことを知っておかなければなりません。それらの中で、自分自身も喜びを感じながらできる育児を自然に無理なく見出して実行するだけです。自分自身が喜ぶことができる育児なら苦痛があるはずないですよ。

お風呂の中で一緒に水遊びを楽しむ… ブロック遊びに興じる… 絵本の読み聞かせ… 我が子の好きな本を読んであげ、その読み手である自分自身に喜びがあれば最良の育児ですよ。食事やおやつも同じです。贅沢や高級な食材の必要はありません。我が子が「美味しい」と言って喜ぶ食事の用意を心掛けて、我が子と一緒に食卓を囲むことに自分自身が喜びを感じ、互いに「美味しいね!」と笑顔になれるだけで最良の育児になるのです。

子供に喜びを与える機会を大切に、パパやママも喜びを感じることを大切にしていれば、子供は自然に相手と悲しみを分かち合うことができるようになるというのは、専門家の研究でも立証されていることです。

いたずらや聞き分けが悪かったりしてパパやママに叱られることは当たり前のごですが、こんな時にパパやママが気を付けなければならないのは、悪いことをしたから叱られたわけで、叱られたのは悪い行為であって、その子自身が悪い子ではないことをしっかりと認識することが大切です。

子供自身が悪い子だという叱り方は絶対にしてはいけませんよ!「あなたは悪い子ではない!」という接し方が大事です。

#### もう一度… 相手と悲しみを分かち合うことができる心が『思いやり』です!!

夏季期間の体育服での登園から紺色制服での登園となり、制服の中に着る服装も自由となりました。そんな中、最近気になることが… 女の子の服装ですが、ひらひらとした可愛らしいスカートを着せてあげたいという親心はよくわかりますが、子供達の活動(特に体操や自由遊び)の際に動きづらさが目立っています。入園前の入園準備のための説明会でもお話させて頂きましたが「動きやすさ重視」をお願いします。お子さんがストレスなく存分に活動を満喫できるようにご配慮をお願い致します。流行りのオーバーサイズも子供にとっては危険がいっぱいですよ!